<u>第16次 6月バージョンアップ項目</u>

<施工図>開発内容

- 1. (new) 合掌梁の拝み板につくガセット位置が表示されるように開発しました。
- 2.(new)梁修正コマンド内の表示内容の開発をしました。
- (new) コラム柱に付くブレスシートの形状をスカラップ・C 取りの選択できるように開発しました。
- 4. (new) ガセット方杖の工区分け機能を開発しました。
- 5. (new) 梁部材で CT 材を利用できるよう開発しました。
- 6.(new)ネット受けと吊りピースの工区分け機能を開発しました。
- 7. (new) ネット受けをつき先によって分けて集計する機能を開発しました。
- 8. (new) ペント柱ガセットを伏せ図に表示するように開発しました。
- 9. (new) 原寸型板(ガセット)でメッキ孔タイプを使用できるように開発しました。
- 10. (new) 三方枠設定を開発しました。
- 11. (new) ペント通り入力時にペント通りに名称を付けるように開発しました。
- 12. (new) 伏図にガセット方杖合番が出力されるように開発しました。
- 13. (new) 柱詳細図画面で拡大縮小ができるように開発しました。

<胴縁>開発内容

- 1. (new) DC ライナーの編集の設定を開発しました。
- 2. (new) ピースの枝番が初期化できるように開発しました。



1.(new) 合掌梁の拝み板につくガセット位置が表示されるように開発しました。



※下記画像のように当たりの位置が寸法として出てきます。

2.(new) 梁修正コマンド内の表示内容の開発をしました。

※梁修正内でブレスシートの表示が原寸型に沿った値で出るようになりました。

※梁修正内で間柱のガセットを表示するようになりました。



3.(new) コラム柱に付くブレスシートの形状を<u>スカラップ・C 取り</u>の選択できるように開発しました。 型板にも反映されます。



4.(new)ガセット方杖の工区分け機能を開発しました。

																		\$	\sim	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~
発注依頼書	工事名		[H2	1716			部材	[L-50×	50×	(6)			ss.	400	ĺ.	Ĩ	X		[1 <u>TE</u>	
発 泸	主明細		[ジョ	イント	ì	ഖ		`₩≠₽≘⊐`	ž	民長	ŝ								$\overline{}$	\neg
) Brailes)長 ざ	数量	E匠	古	ΈF	ן¥¦	F	,łtar	対	民数	i 📃									
[V2]	370), 9] - [2	(VJ2	[VJ2]																
																	_	\sim	\frown	
[発注依頼書]	工事名		(サン:	thi		ġĻ	朙材	[L=50×50	D×6	ĵ.		ß	840	0		IÞ	[[2]	IX	Ś
発 注	明細		())ar	イント	追	辽		서부승규.	定	- 長								\sim	\sim	
部品記号	ある	数量	左	古	[上F]	ː下F		,ttal),	澎	逐										
[V2]	370.	9 [2]	[VJ2]	[VJ2]																

※下記画像は材料リスト内発注依頼書になります。

5. (new) 梁部材で CT 材を利用できるよう開発しました。

※通常の梁と同様に梁配置にて配置可能になります。



※ CT 材断面、側面図



6.(new) ネット受けと吊りピースの工区分け機能を開発しました。

材料リスト>材料リスト出力>出力 個別指定>プレートリスト表

ネット受け

	プレート加工伝票		17	プレート加工伝習	ЯЩ					
׿	株・ポンチ孔・キリ孔・ショッ	・ト - 同じ	先・ 曲げの	• ∎ &⊖₽₹	9 21,7 8,	ž		2978	状。ボンチ孔・キリ孔・ショッ	۱ŀ
	Τī	事 名				μ	区名		<u> </u>	2
	ቻን	dik.			ĺ	3	щ.		. Эр	d
No:	PR 記号	粄顨	11	長む	合計 枚数	рц и 22	坦 第 ジャン ア ブ	[N o]	部品記号	1.440
[84]	[ネット受け(薬付ぎ)]				34			[26]	[ネット委は(薬悟)]	
[65]	[\$9] (\$(#()\$) (\$(#()				[10]			[27]	(本) 「愛(世代を)」	

· -		77	(491g	Ø).				
2578	状。ボンチ孔・キリ孔・ショ	y⊦∎	先・8 ₽ø	- Fidik	記入する。	ट <i>ध</i> ्		
	I	事名				Ι	Z 4	ï
	y	5716				Ę	2IN	3
[N o]	部品記号	板厚		涙釣	.合計. [秋数]	рц Z		11 三十五
(26)	[ネット愛は(薬給)]				[28]			
[27]	(ネット受け(世代を))				[8]			

吊りピース

7	パレート加工伝票	۱۹۷۷	(保 りピー	·z)]].	パレート加工伝男		(吊りピー	-2)]				
激励	状・ポンチ孔・キリ孔・ショッ	וæ	先・曲げな	> 欄は○印 %	記入する	こと	洲	状。ポンチ孔・キリ孔・ショッ	ur ∎ Be	ಕ∘ ಹಚ್α	欄は〇印%	注入する。	こと		
	Τı	≱ 名				江区名		I I	≢ 名				Ĭ	区名	
	भू भू	が				(IIK)		(ম	九				(z	IR)	
					~ <u>≈</u> ₹+''	アム的入日 形						·^=r	PL	1.E 7	ß
[No]	部品記号	板厚		[長さ]	枝数		[N 0]) 해요한 전	板厚		長ぎ	御武		シャ	
						XXX							Ζ.	図法	ľ
[66]	吊りピース (梁付き)				30		[28]	吊りピース (梁付き)]				[9]			

7.(new)ネット受けをつき先によって分けて集計する機能を開発しました。

64	ネット受け(梁付き)
6 5	ネット受け(柱付き)

8. ペント柱ガセットを伏せ図に表示するように開発しました。



※GPL 板番



ガセットタイプの変更は<mark>メッキ</mark>>メッキ穴にて行えます。 スカラップタイプを選択した場合、位置を設定してください。 ※デフォルト入力値



※孔径は部材サイズごとに変更可能です。

(こちらの設定は梁個別指定か領域指定でメッキ部材の指定をした後に行うことが可能になります。)

メッキ穴ガセ	ット部材サイズー	箟
部材サイズ	設計マーク	孔径
H-450x250x9x19	2G1	35
H-350×175×7×11	2G2	35
H-300×150×6.5×9	2B1,RB1	35
H-250×125×6×9	2B2	35

※型板出力例





三方枠入力

① 梁を入力する通りはペント通りで作成。

ペント通りには通り名を付けてください。スパンで付けてください。 これは以後軸図図面名をはじめ梁単品図及び詳細図、出力リストに必要なため。

- ② 伏図作成の後、梁入カラインをペント通りの裏通りにする。 表通りは何もしない。
- ③ 三方枠のL柱を入力L材の距離は柱芯までの距離となります。
 - 1. 間柱耐風梁梁—間柱EV配置
 - 2. 間柱耐風梁梁—間柱EV修正でフロアラインをタッチ ガセットの確認
- ④ 間柱耐風梁-三方枠 で三方枠の横材を入力
- ⑤ 現在三方枠プログラムは開発チェック中ですので、 リリースまで今しばらくお待ちください。(七月中旬リリース予定)

※直行通り追加機能でペント通り(ダミー通り)は入力可能です。 またこちらの作業を行っていただく際には必ず物件保存またはバックアップデータを 作成していただくようお願いいたします。





11.伏図にガセット方杖合番が出力されるように開発しました。

図面レイアウト	▶ 図面レイアウト				
梁Uスト 材料		キープラン縮尺	40	納め方向	いやし設定
	基本データ	リスト向き	縦横	全深	と出力
		部材リスト幅	9 (0:なし)	納め方向と	違う梁のみ
909-4	1	勾配軸図	有無設定	出力	しない
	アンカーレイアウト	スリーブ文字サイズ	2 (0の場合は)	出力しない)	
		部材リストタイプ	通常 備考なし	,	
		高さ表記方法	大梁天端基準(フ	ロア基準	
	伏図 レイアウト	勾配範囲高さ表示	表示する 表	示しない	Enter
		設計マーク表示	階マークあり 階帯	マークなし	
S 261-2		部材リスト設定	全部材出力 配置	『部材のみ	配置初期化
₩ 1	軸図 レイアウト	仕口合番表示	表示する 表示する 表	示しない	☑ ガセット方材
		スプライス表示	ブレート表示	孔表示	- 上下の閉柱を
					□ 表示する

※設定は図面レイアウト内→伏せ図レイアウト内にございます。

伏せ図図面



12. 柱詳細図画面で拡大縮小ができるように開発しました。

※柱詳細内各種画面でマウスでの拡大縮小ができるようになりました。

こちらの機能は柱が複数ある大きいサイズの物件であったり近い箇所に通りがある場合の柱選択で 有用な機能となっております。



※また通り交点のコマンドを用いていただくとより便利に柱の選択を行うことが可能です。

こちらの機能を用いると柱自体を選択せずに柱通り交点の下記図をクリックしていただくことで柱図面 やダイアなどをピンポイントに選択することが可能になります。

- 柱通り交点 -		_			
出力通り名	通り名			1	
Α	2	全選択/解除	図面作成	間柱図面	終了
A	3			11月32	
	1				☆占→監書テオス
	1			<u>I</u> ≥ <u>1</u> <u></u> 2975	(点 見衣小りつ
	2				
	3				
C	1				
C	2				
С	3				



1. DC ライナーの編集の設定を開発しました。

※設定のある箇所

1 初期設定 2 DC ライナー 3 データ出力 データ出力をしていただく段階で配置画面や加工図にライナーPL が入ります。 ※DC ライナーの入力後に個別に削除などをすることも可能です。

※設定箇所

初期	朝設定	図面読込	間相
	胴縁	728-	
Ι.	Ľ −Х	728-	
	DC71	(+-	

※設定画面

(こちらで PL のサイズや配置間隔などを調整できます。)

ライナーマスター

番号	符号	種別	板厚	紙寸法	横寸法	孔数	列数	ボルト	孔径	維端明	縦ビッチ	橫端明	橫ビッチ	
1	RF1	ボルト	9.0	50	50	1	1	12	15.0	25		25		
2	RF2	ボルト	9.0	50	100	2	1	12	15.0	25		25	50	
3	RF3	溶接	9.0	90	50									
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														•

登録する番号を選択して下さい

DCライナーの配置設定	■縁サイズ ライナー
両端からの 寸法 500	100 RF1 開 縁サイズには部材の幅 を入力して下さい
ビッチ 1000	125 RF2 例、C-100x50なら100
中央(設定値未満は無) 1500	RF1 RF2
	RF3
※配置したDCライナーを画面に表示します。 加工図作成時に自動的に配置します。	
※配置設定は工事別です。	※配置しない場合は空白にして下さい

※データ出力画面 こちらでデータ集計を行うことで DC ライナーが入ります。 データ出力 全集計・出力 ブレビュー バージョン 終了
データ出力 ×
集計の設定 番号 工区名 配置数 種類数 先頭合番 末尾合番 新規配置した胴縁及び変更のある 未設定 59 28 1 28
追加する先頭の合番 29
□ 合番の固定
▶ 全てが変更になった合番は、 ▶ ▶ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
集計履歴·変更点一覧
前回の集計日時 2025/05/13 9:35:45 図面出力 2025/04/16 8:05:29 加工図出力 未出力
データ集計 エ区合番 合番初期化 DCライナー初期化 と*ース枝番初期化 梁ロボデータ変換
図面出力 加工図作成 孔あけ加工表 NCデータ出力 ブレビュー 終了

※ライナープレート 配置例



1. データ出力 2. ピース枝番初期化

データ出力 全集計・出力 プレビュー バージョン 終了					
データ出力					×
 集計の設定 新規配置した■ ■縁を集計しま 追加する先夏 ○ 合番の固 ☑ 全てが変 集計後も 	緯及び変更のある す。 夏の合番 定 更になった合番は、 同じ合番を振る	番号 ID 末言	2名 定 2	数│種類数│先頭合 59 28	番 末尾合番 1 28
集計履歴·変更点	5.一覧				
前回の集計日時 2025/05/13 9:35:45					
図囲出力 2025/04/16 8:05:29 加工図出力 未出力					
ゴー力住手		ム委知期化	00=/+、初期化	トキュサモンが肥化	添口ギニュカ赤怪
ナ ^ー タ来il	ᅶᄻᆸ╋	口田初期化	00717-1019110	して、収留初期に	朱山小ナーダ変換
図面出力	加工図作成	孔あけ加工表	NCデータ出力	ブレビュー	終了

※ピース枝番初期化例





